

## 五胡十六国霸史輯佚（稿）

（修 正）

2010年3月

---

以下の箇所には校正漏れがありました。とくに H0052～H0080 の排列に乱れがある点については利用の際、不便であるため、ここに修正箇所の提示とあわせて、H0052～H0080 を含むページ（pp. 34～37）を修正して添付いたします。

- ・ P. 5 下から 7 行目  
    ※「無限に近い編纂の過程を」の次の改行は不要。
- ・ P. 7 下から 5 行目 （誤）李盛鐸旧蔵敦煌文献とみられる、  
    →（正）李盛鐸旧蔵敦煌文献とみられる。
- ・ pp. 34～37（H0052～H0080）  
    ※排列に問題有り。また索引とあわない。
- ・ pp. 289～303（索引）  
    ※佚文「H 番号」が必ずしも番号順に排列されていない。

A. 世說新語/B. 水經注/ C. 敦煌秘笈 /D. 瑠玉集/E. 修文殿御覽/F. 經典歌文/G. 顏氏家訓/ H. 北堂書鈔/  
I. 藝文類聚/J. 辯正論/K. 隋書/L. 文選注/M. 翰苑/N. 廣弘明集/O. 類林/P. 法苑珠林/Q. 肇論疏/R. 史通/S. 沙州圖經/  
T. 初學記/U. 開元占經/V. 史記注/W. 通典/X. 元和姓纂/Y. 元和郡縣圖志/Z. 祕府籍/a. 白氏六帖/b. 獨異志/c. 太平廣記/  
d. 太平御覽/e. 太平寰宇記/f. 事類賦/ g. 廣韻/h. 通鑑考異/i. 樂府詩集/j. 相庭草苑/k. 廣川書跋/l. 白孔六帖/m. 類林雜說  
/n. 說郭/

- H0043·『趙書』 北堂書鈔 卷一二七 衣冠部上 幘四 東耕改服注  
趙書云、裴憲撰三正東耕儀、中書令徐光奏議、以東耕儀親耕改服不幘也。
- H0044·『燕書』 北堂書鈔 卷一二七 衣冠部上 簪六 張華遺慕容注  
燕書云、高祖慕容廆童兒往見、晉安北將軍張華甚異之、脫所着幘簪以遺慕容廆。
- H0045·『西河記』 北堂書鈔 卷一二九 衣冠部下 裳二一 碧纈裙注  
西河記云、西河無蠶桑、婦女着碧纈裙、上加細布裳。
- H0046·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一二九 衣冠部下 袍二二 丹紗袍注  
鄴中記云、石虎臨軒、大會著丹紗袍。
- H0047·『趙書』 北堂書鈔 卷一二九 衣冠部下 裘二三 重裘患不清涼注  
趙書曰、汲桑盛暑重裘累茵、使人扇患、不清涼斬扇者。
- H0048·『趙書』 北堂書鈔 卷一二九 衣冠部下 袴褐二七 親耕青纈 注  
趙書云、裴憲撰三正東耕儀、中書令徐光奏、親耕改服青纈袴褶。
- H0049·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一二九 衣冠部下 袴褐二七 合歡 注  
鄴中記云、石虎獵、著金縷合歡袴。
- H0050·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一二九 衣冠部下 綸巾二九 紫綸巾 注  
鄴中記云、石虎皇后出、以女騎一千爲鹵簿、令冬月皆著紫綸巾。
- H0051·『趙書』 北堂書鈔 卷一三一 儀飾部下 璽一三 永融剋昌注  
趙書、劉曜於龍門河水中得一玉璽、文曰永融剋昌、曜以爲天賜劍璽、齎九日而受之。
- H0052·『燕書』 北堂書鈔 卷一三一 儀飾部下 璽一三 霧四塞注  
燕書云、元璽六年、蔣幹遣劉猗齎傳國璽詣晉求救、倚負璽私行數里、天黃霧四塞、迷荒不得進、乃還易取行璽、始得去。
- H0053·『石勒別傳』 北堂書鈔 卷一三一 儀飾部下 璽一三 韓強得元璽注  
石勒別傳云、韓強在長城縣、西山巖石闕、得玄璽一所、方四寸厚二寸、石虎以爲縣瑞。

- H0054·『涼州記』(段龜龍) 北堂書鈔 卷一三一 儀飾部下 璽一三 陳仲得玉璽注  
段龜龍涼州記云、呂光時、陳仲得玉璽、博三寸長四寸、直看無文字、向日視之字在腹中、有三十四字、言光當王云。
- H0055·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三二 服飾部一 幌四 絳紗幌注  
石虎鄴中記云、石虎太武殿西有崑華殿、閣上通支不壁、輒開大窗皆絳紗幌。
- H0056·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三二 服飾部一 帳五 角安金爐頂安金蓮注  
石虎鄴中記云、冬月纈大明光錦絮以房子錦一百二十斤、白纈爲裏、名複帳、帳之四角安純金銀鑿鑊、香爐以石墨、燒集和名香、帳頂上安金蓮花中縣金薄、織成紈囊、飾以□□、囊受三升以盛香、帳之四面上十二香、囊采色亦同、但小囊耳、百丈以經節貫玉璧內帳雄也。
- H0057·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三二 服飾部一 帳五 春施錦袂夏用羅單注  
又(石虎鄴中記)云、春秋但施錦帳、表以五色絲爲袂帳、帷夏用單紗羅、或綦文丹羅、或縠文羅爲單帳。
- H0058·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三二 服飾部一 帳五 單帳注  
說又云、傳單帳也  
〔註〕\*今案說又四字疑誤、陳本改鄴中記見上春施錦袂條下。
- H0059·『秦記』 北堂書鈔 卷一三二 服飾部一 幔八 絳紗幔注  
秦記云、符永固以太常韋逞母宋傳其父業、得周官音義乃就宋家立講堂、書生百餘人、隔絳紗幔而受業焉。
- H0060·『秦記』 北堂書鈔 卷一三二 服飾部一 簾一〇 金玉簾注  
秦記云、明光宮在漸臺西、以金玉珠璣爲之、簾箔也。
- H0061·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三二 服飾部一 屏風一一 金鈕屈膝注  
鄴中記云、石虎作金銀鈕屈膝屏風、依以白纈、高施則八尺、下施則四尺、或施六尺、從意所欲畫義士仙人禽獸之相、讀皆三十二言。
- H0062·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三三 服飾部二 牀一五 玉牀注  
鄴中記云曰、石虎於正殿、安牀辟方三丈、其餘牀皆局脚高六尺、後宮別房中有小形玉牀。
- H0063·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三三 服飾部二 席一九 石虎線編注  
鄴中記云、石虎作席以金裏五香、雜以五色綫、編蒲皮緣之以錦、石虎御坐之制、必以五

A. 世說新語/B. 水經注/ C. 欽定四庫全書 /D. 瑯琊集/E. 修文殿御覽/F. 經典輯文/G. 顏氏家訓/ H. 北堂書鈔/  
I. 藝文類聚/J. 辯正論/K. 隋書/L. 文選注/M. 翰苑/N. 廣弘明集/O. 類林/P. 法苑珠林/Q. 肇論疏/R. 史通/S. 沙州圖經/  
T. 初學記/U. 開元占經/V. 史記注/W. 通典/X. 元和姓纂/Y. 元和郡縣圖志/Z. 秘府略/a. 白氏六帖/b. 獨異志/o. 太平廣記/  
d. 太平御覽/e. 太平寰宇記/f. 事類賦/ g. 廣韻/h. 通鑑考異/i. 樂府詩集/j. 祖庭事苑/k. 廣川書跋/l. 白孔六帖/m. 類林雜說  
/n. 說郛/

色線、編蒲心爲之薦席也。

·H0064·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三三 服飾部二 案二〇 玉案注  
鄴中記云、石虎以宮人爲官門、下通事以玉案行文書。

·H0065·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三三 服飾部二 几二一 雕畫五色注  
鄴中記云、石虎御坐几悉漆、雕畫以五色。

·H0066·『三石遺事』 北堂書鈔 卷一三三 服飾部二 杖二二 金杖注  
三石遺事云、佛圖澄死、以所服金鈿杖內棺中、再閱後開棺視之、唯見金杖。

·H0067·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三四 服飾部三 扇二四 金薄注  
鄴中記云、石虎作雲母五明金薄莫難之扇、此一扇之名也、扇畫列仙奇鳥獸、其五明方中  
辟、方三寸或五寸雲母帖、其中細縷縫、其際雖掩畫象而采色明徹看之如謂、可取故名爲莫  
難者也。

·H0068·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三五 服飾部四 香爐三七 金鑲香爐 注  
鄴中記曰、石虎冬月爲複帳、帳之四角安純金銀、鑲香爐。

·H0069·『華陽國志』 北堂書鈔 卷一三五 服飾部四 粉六四 江州粉注  
華陽國志曰、巴郡江州縣有水穴、人取之以爲粉、則膏曜鮮芳、貢之京師、因名粉水。

·H0070·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三五 服飾部四 粉六四 石虎和粉泥房注  
鄴中記曰、石虎以胡椒和粉泥壁曰椒房。

·H0071·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三六 服飾部三 鏡六五 徑三尺注  
鄴中記云、石虎三臺及內宮中鏡有徑三尺者、下有純金盤龍及彫飾金用數斤者也。

·H0072·『二石遺事』 北堂書鈔 卷一三六 服飾部三 鏡六五 照鏡不見頭注  
二石遺事云、石虎晉咸康二年遷都鄴宮、照一大鏡不見頭、宋武紀曰、仲文在東陽、照鏡  
不見頭、旬日而就戮。

·H0073·『華陽國志』 北堂書鈔 卷一三六 服飾部三 釵六九 靈釵注  
華陽國志曰、涪陽山有大龜、其甲可以卜、其緣可作釵、世號曰靈釵。

- H0074·『鄴中記』 北堂書鈔 卷一三六 服飾部三 囊八〇 金薄注  
鄴中記云、石虎造流蘇帳、上安金蓮花、中縣金薄盛腕、囊盛異香帳之、四面上十二香囊米、色絲同。
- H0075·『華陽國志』 北堂書鈔 卷一三六 服飾部三 履八六 挈履而歸注  
華陽國志曰、何隨家養竹園、人盜其笋、隨過行見之恐、盜者覺怖走傷其足、隨乃挈履、徐步而歸。
- H0076·『秦記』 北堂書鈔 卷一三六 服飾部三 履八六 指深一寸左右五孔注  
秦記云、霖雨河渭溢、蒲坂津監冠登于河中得一隻履、長七尺三寸、稱履五指長尺餘、指文深一寸 左右通五孔。
- H0077·『華陽國志』 北堂書鈔 卷一三八 舟部下 牂牁二一 莊王牂牁注  
華陽國志曰、楚頃襄王遣將軍莊躡、泝沅水伐、夜郎軍至且蘭而步戰、既滅夜郎、而秦奪楚地、無路得歸、遂留之號爲莊王、以且蘭有楸舟、牂牁處乃改郡爲牂牁矣。
- H0078·『華陽國志』 北堂書鈔 卷一三九 車部 愬載篇一 自稱益州牧以討恃維分爪牙注  
華陽國志七云、鍾會姜維出同車坐同席、將至成都、自稱益州牧以叛、恃維爲爪牙。
- H0079·『華陽國志』 北堂書鈔 卷一三九 車部 愬載篇一  
常璩華陽國志曰、郝伯都閬中人。爲郡吏、太守、每見之垂泣、伯都請白、其故、太守曰、亡男爲人所殺、汝身似之、故悲感。伯都問其讐所在。太守曰、臺閣、下可得也。伯都乃交游與甘春卿爲友、共同讐爲吏所得、伯都乃還、首二人爭死、會赦得免。
- H0080·『三十國春秋』(羊堅等) 北堂書鈔 卷一三九 車部 愬載篇一  
羊堅等三十國春秋曰、晉泰始五年夏四月、地震大疫、上命醫以駟馬小車、馳救療。
- H0081·『三十國春秋』 北堂書鈔 卷一三九 車部 愬載篇一  
又(三十國春秋)曰、晉元康元年、太宰汝南王亮·太保衛瓘忌楚王瑋、人果贖也、因議遣諸王之國、長史公孫容射舍人岐盛勸王自屈、賈后乃言于帝、詔留王領太子少傅、丁卯夜、楚王瑋·公孫容岐盛及積弩將軍李肇等、圍太宰汝南王亮于府、府兵皆散、遂爲岐等所執、是時天大熱、兵人坐亮于車、下車人憐之、交爲之扇、瑋乃令曰、能殺亮者、賞布十疋、遂爲亂兵所害。

霸史名索引 (前掲 pp. 34~37 ページ対象、要修正 H0052~H0080 を含む)

『燕書』	H0044 / H0052
『華陽國志』	H0069/ H0073/ H0075/ H0077/ H0078/ H0079/
『鄴中記』	H0046/ H0049/ H0050/ H0055/ H0056/ H0057/ H0058/ H0061/ H0062/ H0063/ H0064/ H0065/ H0067/ H0068/ H0070/ H0071/ H0074
『三十國春秋』	H0081
『三十國春秋』(羊堅等)	H0080
『三石遺事』	H0066
『秦記』	H0059/ H0060/ H0076
『西河記』	H0045
『石勒別傳』	H0053
『趙書』	H0043/ H0047/ H0048/ H0051
『二石遺事』	H0072
『涼州記』	H0054